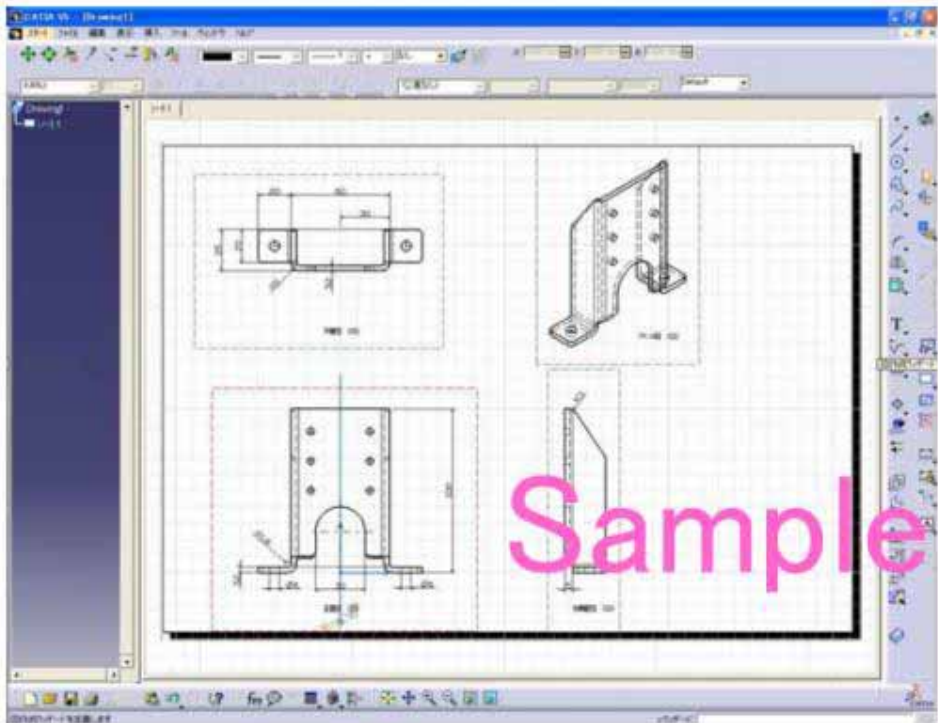


ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



ツールバー

(ドラフティング)

コマンド

*** 操作手順 ***

ドラフティング(A1)の課題について

既存オブジェクト(データ)を呼び出して、そのオブジェクトの三面図を作成する

- ・三面図の投影法と用紙の設定
- ・三面図の自動配置と手動配置

次へ進む

sample5-draw.pdf - Adobe Reader

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ツール 注釈

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***

*** 操作手順 ***

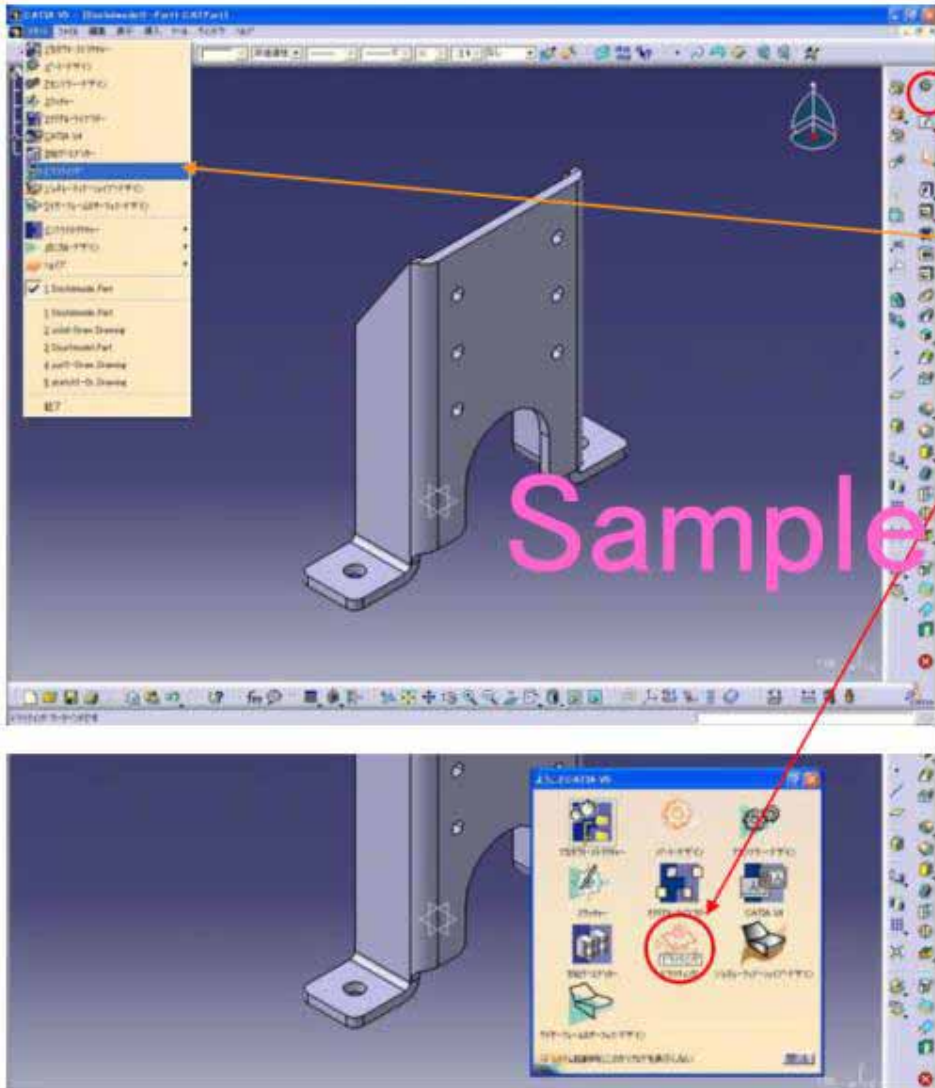
図面化する既存オブジェクトを呼び出しておいてから、ドラフティングのワークベンチに切り替える

(既存のオブジェクトが呼び出されているものとする)

1. (MenuBar) スタート → ドラフティング を選択クリックする

または、
(ToolBar) ワークベンチのアイコンをクリックして「ようこそCATIA V5」を表示させて、ドラフティングをクリックする

次へ進む



sample5-draw.pdf - Adobe Reader
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

図面のレイアウトと用紙サイズを設定する

step1 : 投影法(第一角法または第三角法)と用紙サイズを設定する

1. 「新規図面を作成」ダイアログボックスが表示される
 - ・図面の投影法(第一角法または第三角法)や用紙サイズを設定する場合は、「修正」をクリックする
 - 前回の設定と同じか、後で設定する場合は、「修正」クリックは不要で、次へ進む
 - ・「新規図面」ダイアログボックスが表示される規格 : 「JIS」を選択する
 - 形式 : 「A3 JIS」を選択する

(注) JIS を選択すると、投影法は第三角法になり、ISO を選択すると、投影法は第一角法となる

用紙サイズは、オブジェクトの大きさを考慮して選択する
用紙サイズの設定変更は、この後いつでも行うことができる

2. 「OK」をクリックする

次へ進む

sample5-draw.pdf - Adobe Reader
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ツール 注釈

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

図面のレイアウトと用紙サイズを設定する

step1: 投影法(第一角法または第三角法)と用紙サイズを設定する

3. 「新規図面を作成」ダイアログボックスの自動レイアウトを選択: 左側を選択する(選択するとオレンジ色に変わる)

(注)一番左のレイアウト図なしは、手動設定
その右3個は、自動設定である

4. 「OK」をクリックする

次へ進む

(注)3. 項で、自動設定を選択した場合は、呼び出してあるオブジェクトの三面図が、指定したレイアウトですぐに表示される

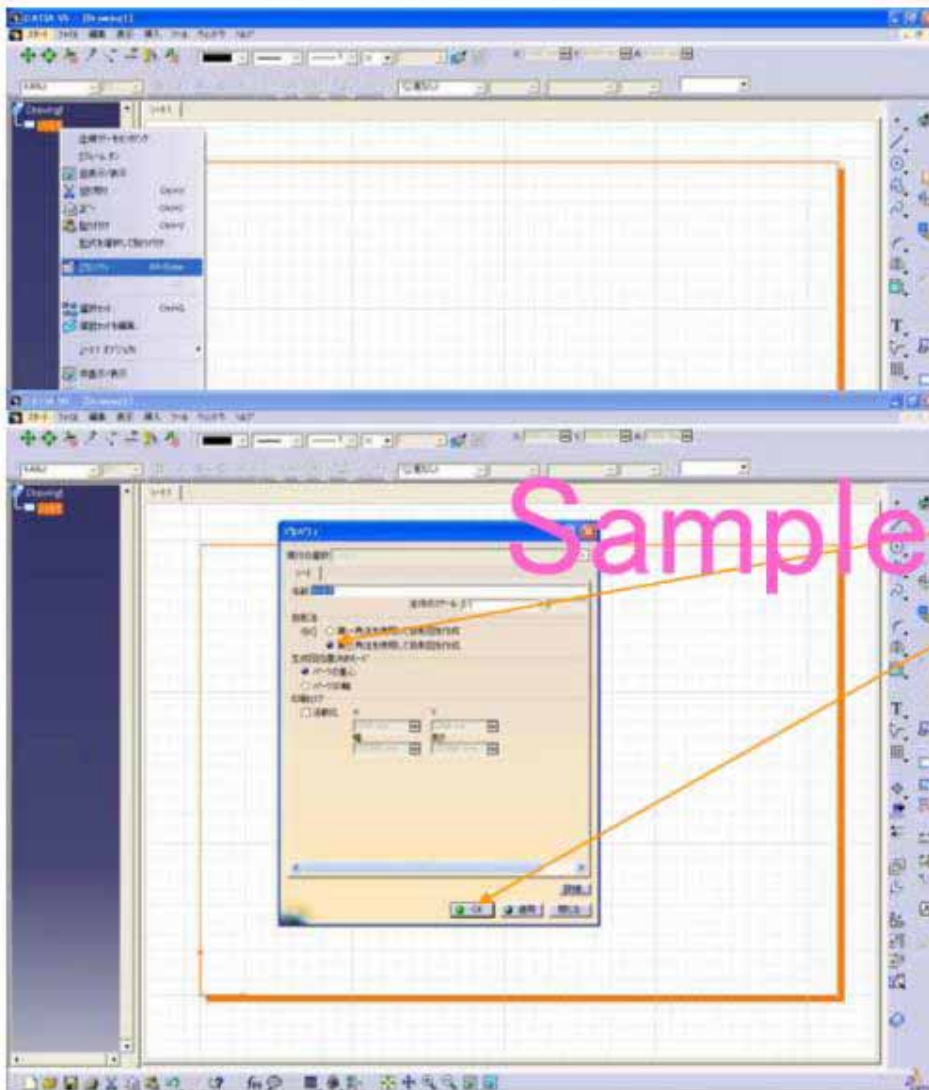
ツールバー (ドラフティング)

コマンド

Sample

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

図面のレイアウトと用紙サイズを設定する

step1 : 投影法(第一角法または第三角法)と
用紙サイズを設定する

投影法(第一角法、第三角法)を変更する場合

1. 仕様ツリーのシート1をMB 3 (右)クリックし、
コンテキストメニューのプロパティをクリックする
2. 「プロパティ」ダイアログボックスが表示される
投影法 : 第一角法を使用して・・・
第三角法を使用して・・・
のいずれかを選択する
特に指定されていない場合は、通常、第三角法を
選択する
3. 「OK」をクリックする

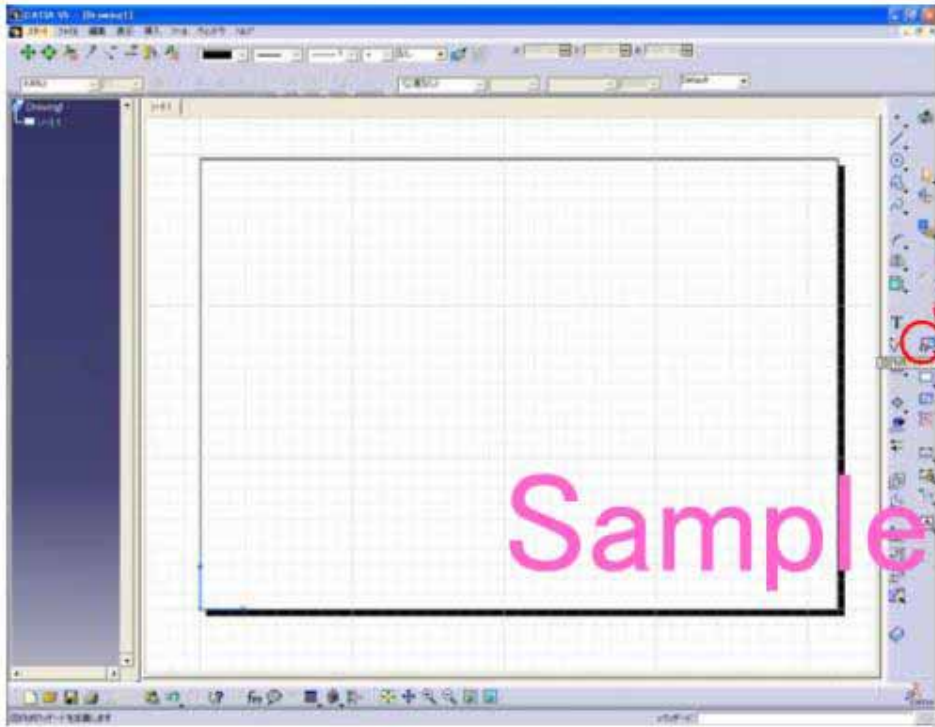
次へ進む

sample5-draw.pdf - Adobe Reader
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ツール 注釈

ドラフト
ドラフティング(A1)


*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

レイアウトの手動設定を行う場合

step2 : 図作成ウィザードを使用する

1. (ToolBar)  をクリックする

次へ進む

ツールバー (ドラフティング)

コマンド

6

sample5-draw.pdf - Adobe Reader
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
7 / 12 100% ツール 注釈

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***

*** 操作手順 ***

レイアウトの手動設定を行う場合

step2 : 図作成ウィザードを使用する

2. 「図ウィザード... (ステップ1/2)」ダイアログボックスで左上下に並んでいるアイコンのレイアウトを決める

- ・最上のアイコンをクリックする (左のようになる)
- ・「次へ」をクリックする

3. 「図ウィザード... (ステップ2/2)」ダイアログボックスで左上下に並んでいるアイコンの追加レイアウトを決める

- ・最下のアイコン (アイソメ図) をクリックする (左のようになる)
- ・ (アイソメ図) にマウスを近づけ、色が変わったら配置したい場所まで、クリックしないで移動させ、確定した場所でクリックする

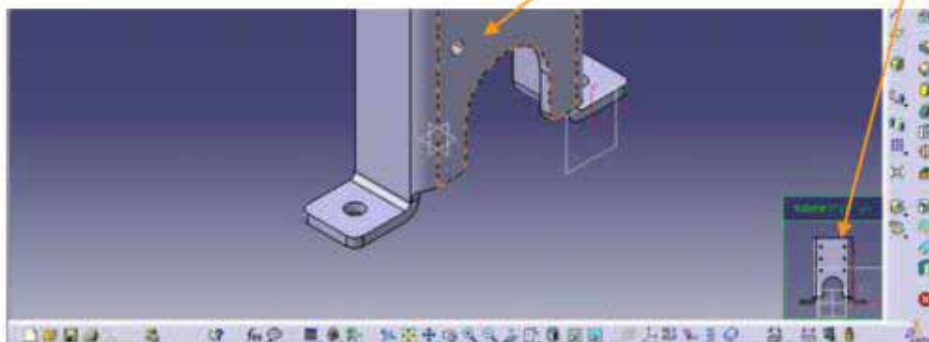
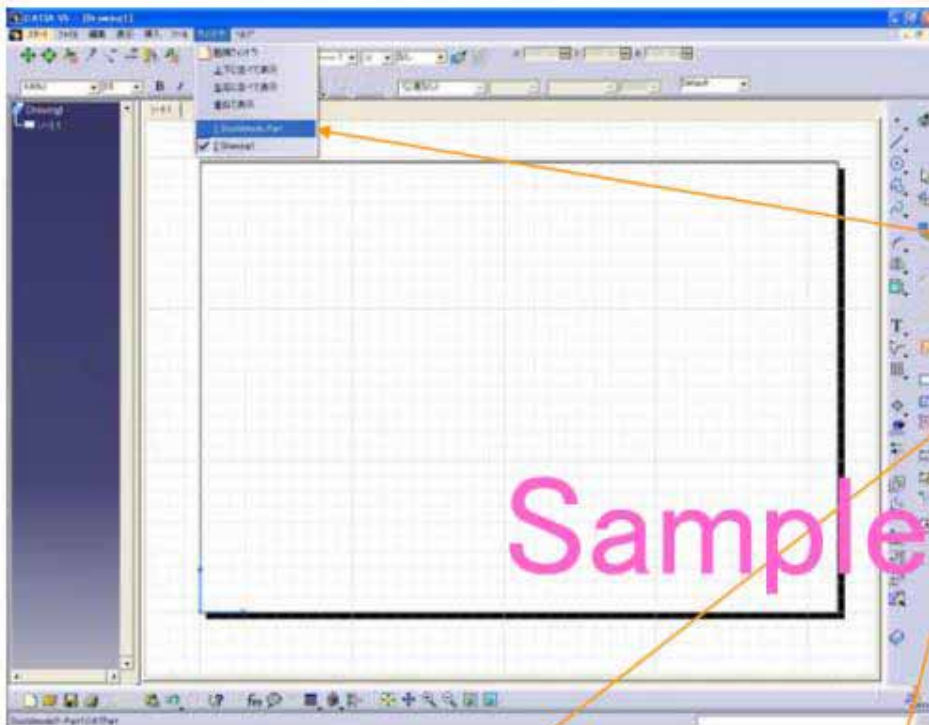
4. 「完了」をクリックする

次へ進む

コマンド

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

レイアウトの手動設定を行う場合

step2 : 図作成ウィザードを使用する

5. 図面化するオブジェクトのウィンドウを表示させる

(MenuBar) ウィンドウをクリックして
オブジェクトのウィンドウを表示させる

6. 正面図に表示させるオブジェクトの面にマウスを
近づけると、右下に正面図の概略図が表示される

7. 確認して、OKならマウスをクリックする

次へ進む

sample5-draw.pdf - Adobe Reader
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***

*** 操作手順 ***

レイアウトの手動設定を行う場合

step2 : 図作成ウィザードを使用する

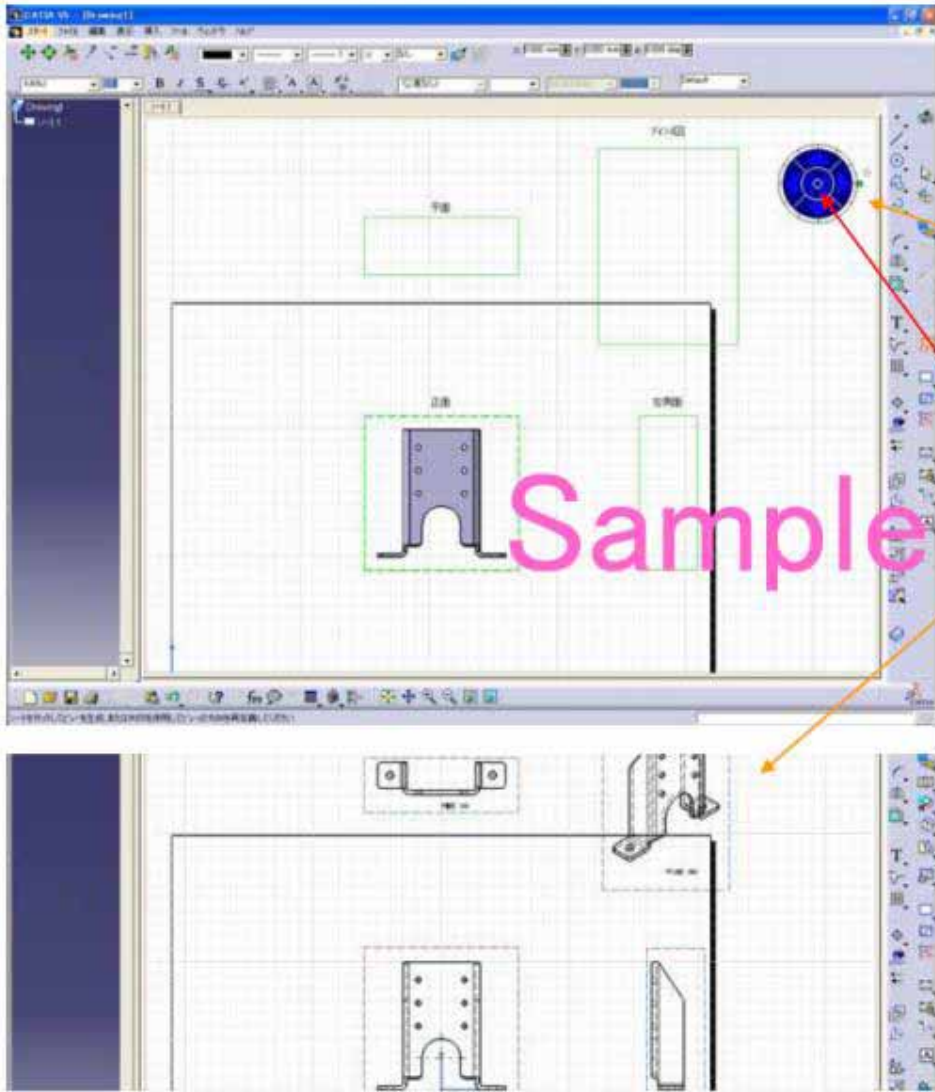
8. ドラフティングのワークベンチに戻る

9. 右上に、マニピュレータが表示されている
このマニピュレータで、必要なら表示の向きを修正する
(マニピュレータの矢印の方向に正面図が回転する)

修正後、または、このままでOKなら、
マニピュレータの中心部をクリックする

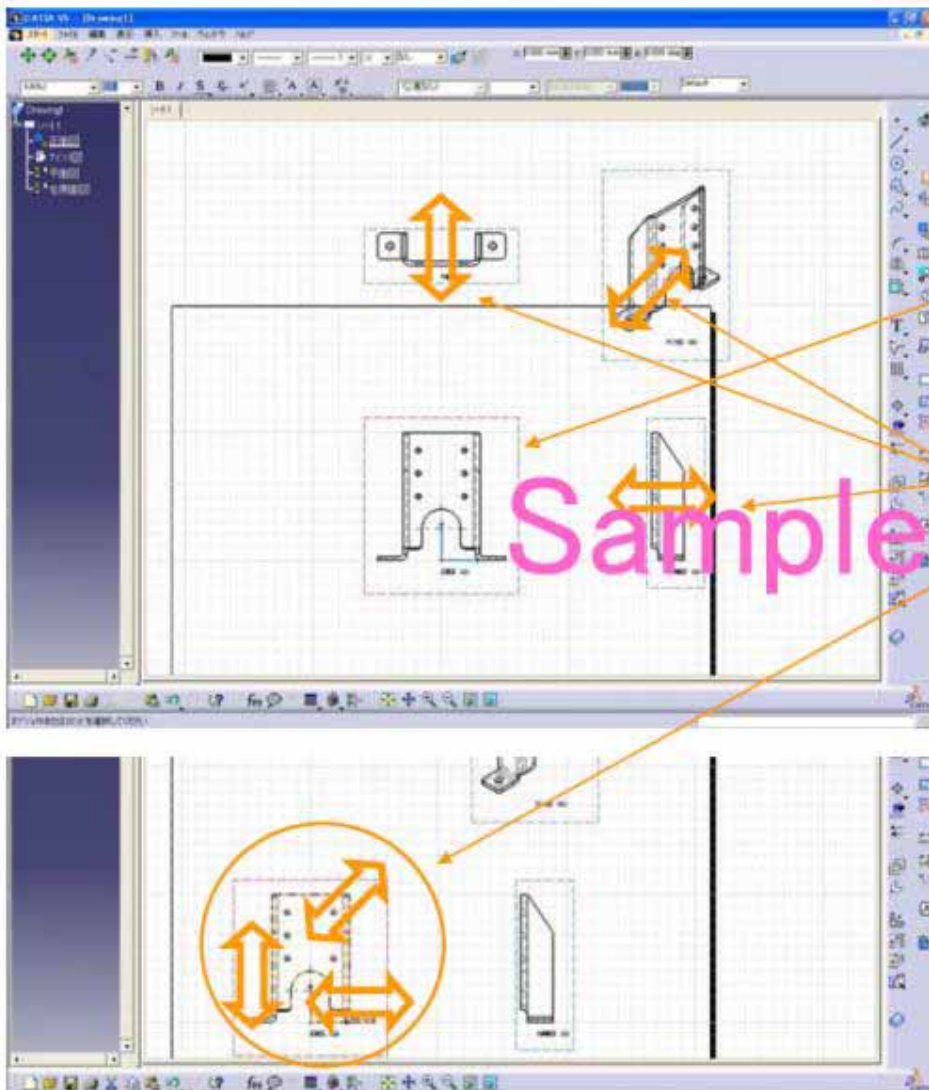
確定された正面図とその他の投影図が表示される

次へ進む



ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



*** 操作手順 ***

レイアウトの手動設定を行う場合

step2 : 図作成ウィザードを使用する

10. 表示させる投影図を、用紙の枠内に入れるため、
正面図をマウスでドラッグ移動する

図面枠(破線)をドラッグする

正面図の移動方向は自由であるが、他の投影図
も一緒に移動する

11. 正面図以外の投影図の移動は、正面図に拘束
されており、1方向のみ移動可能となっている

正面図は、自由に移動できる

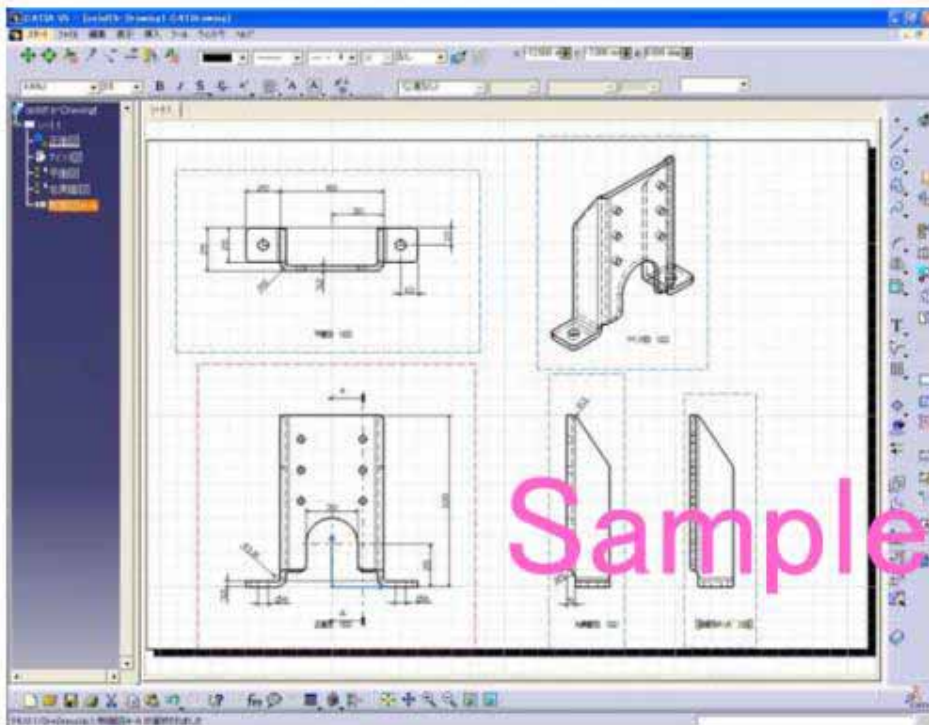
次へ進む



途中省略

ドラフト
ドラフティング(A1)

*** ウィンドウ ***



ツールバー

(ドラフティング)

コマンド

*** 操作手順 ***

最終状態の図面内容を確認して保存する

1. (MenuBar)ファイル→名前を付けて保存...を選択してクリックする

終了